

この瞬間

平成30年2月 vol.6

フローレンス富士の郷

トイレ動作に重点を置いた
日常生活機能向上訓練

K様 平成21年6月施設入居

・ 要介護4

・ 脳梗塞の後遺症による右上下肢麻痺

平成26年にS状結腸軸捻転で入院。その後、平成28年4月～11月の間に3回、腸軸捻転による入退院を繰り返す。何度も入院をしたことで、健側である左下肢の筋力も低下。



車いすへの移乗も1人では困難に。

右下肢足関節の内転が強くなり、立ち上がり時のバランスが不安定になり転倒が増える。

また、オムツ・パット対応だったが尿量がかなり多く、失禁が続いていた。

担当者会議

平成28年11月16日、退院時に担当者会議を実施。

訪問リハビリ

リハビリの実施。

訪問介護

オムツ対応から尿器対応へ変更。

尿量がかなり多いが、オムツ・パット中止し、リハビリパンツ、尿器の使用へ変更。

施設

随時声かけ、本人がしたくなったら職員に声をかけるやり方で対応。



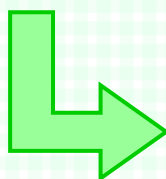
■平成29年5月（担当者会議から6か月）■

訪問リハビリの効果で右足関節の内転が改善。

尿意を感じたら声をかけてもらうことで、排尿の感覚が戻ってくる。

最初は失禁してしまうことが多かったが、徐々に成功率が上昇。

動きが増えたことで、排便の回数も増加、担当者会議後は1度も腸軸捻転での入院がなくなる。



支援内容を更に変更

日中の尿器対応を、トイレ誘導に変更。

- トイレ誘導にて、左上下肢に力を入れることで、立ちあがりがスムーズになる。
→立位が安定、車いすの移乗やトイレ便座への移乗が一部介助レベルに。
- トイレに行く回数が増えたことで、失禁の回数や失禁による更衣や使用パットの量が激減。
→参加率の低かった体操（歌体操や口腔体操、頭の体操等）への参加も増加。
自身でできることが増え、自信を持てたとおっしゃっている。

現在

自力で移乗を行えるまで改善



①右足のフットカバーを外す



②フットレストを開いて靴がずれていないか確認



③ベッドサイドのポールを左手でつかんで立つ準備



④左手左足に力を入れて立ち上がり、ベッドサイドへ座る。（安定した座位を保つ）



⑤左手でポールをしっかりつかみ、少し前傾姿勢をとる



⑥左手左足に力を入れ、車椅子に臀部を持っていき座る。（座りが浅い時は直す）



⑦右足のフットカバーを自分でつける。



⑧移乗完了！

施設見学随時受付中 ☆毎週土曜・日曜も施設見学会開催中☆

機能訓練強化型

住宅型有料老人ホーム

コーレンス富士の郷

静岡県富士宮市万野原新田4068-9

0544-58-9605

株式会社 e-care

0120-968-758

静岡県沼津市高島本町16-16

三井生命沼津高島本町ビル2階

<http://www.e-care.co.jp/>



富士の郷の日常

